



## Device Manager

ここでは、Cisco MDS 9000 Device Manager の特徴と使用について説明します。この章の内容は、次のとおりです。

- 「Device Manager の概要」 (P.6-1)
- 「Device Manager の起動」 (P.6-2)
- 「Device Manager の使用法」 (P.6-2)
- 「Device Manager のプリファレンスの設定」 (P.6-7)

### Device Manager の概要

Device Manager を使用すると、搭載されたスイッチ モジュール、スーパーバイザ モジュール、モジュールの各ポートのステータス、電源、およびファン アセンブリを含めて、Cisco MDS 9000 ファミリ スイッチ シャーシまたは Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチ シャーシをグラフィック表示できます。

Fabric Manager の Information ペイン内のテーブルは、基本的に、Device Manager で表示されるダイアログボックスに対応しています。ただし、Fabric Manager のテーブルには 1 つまたは複数のスイッチの値が表示されますが、[Device Manager] ダイアログボックスに表示されるのは 1 つのスイッチの値です。また、デバイス固有の設定の確認や、トラブルシューティング用の情報は、Fabric Manager よりも Device Manager の方が詳細です。

Device Manager Release 4.2 以降では、複数の表示方法（簡易および詳細）で強化されたセキュリティを利用でき、機能のアクセスをロール ベースで管理できます。Device Manager の表示方法を選択することでユーザに最適なメニュー項目だけを表示することができます。サーバ管理ロールを持つユーザはファブリック関連機能の一部にだけアクセスできます。また、Device Manager ユーザまたは接続されているクライアントを管理できません。

### Device Manager の機能

Device Manager は、Device View と Summary View の 2 つのビューを提供します。Summary View では、スイッチのインターフェイスを監視できます。Device View では、次のようなスイッチ レベルの設定を実行できます。

- 仮想ファイバ チャネル インターフェイスの設定
- Fibre Channel over Ethernet (FCoE) 接続の設定
- 複数の VSAN のゾーンの設定
- ポート、PortChannels、およびトランキングの管理

- スイッチへの SNMPv3 セキュリティ アクセスの管理
- スイッチへの CLI (コマンドライン インターフェイス) セキュリティ アクセスの管理
- アラーム、イベント、および通知の管理
- コンフィギュレーション ファイルおよびソフトウェア イメージの保存とコピー
- ハードウェア構成の表示
- シャーシ、モジュール、およびポートのステータスや統計情報の表示

## Device Manager の起動

Device Manager には起動方法が 2 通りあります。

デスクトップから Device Manager を起動するには、[Device Manager] アイコンをダブルクリックし、「Cisco Fabric Manager とその他の管理ツールとの統合」(P.2-42) に記載された手順に従います。

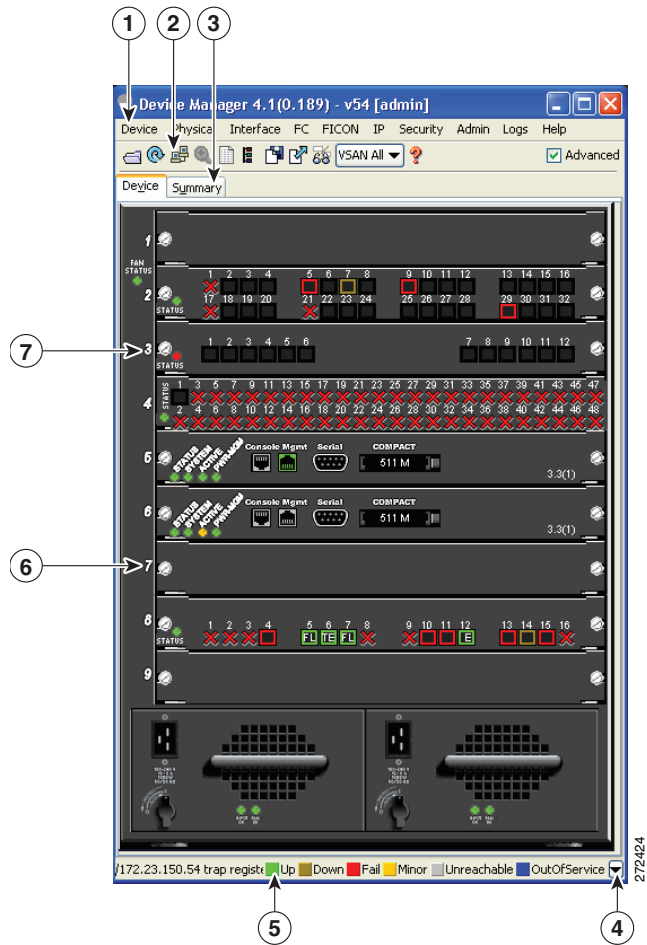
Fabric Manager から Device Manager を起動する方法は 3 通りあります。

- [Fabric] ペインのマップで、管理するスイッチを右クリックし、表示されたメニューで [Device Manager] を選択します。
- [Fabric] ペインのマップでスイッチをダブルクリックします。
- [Fabric] ペインのマップでスイッチを選択し、[Tools] > [Device Manager] を選択します。

## Device Manager の使用法

ここでは、Device Manager インターフェイスについて説明します (図 6-1 を参照)。

図 6-1 Device Manager の [Device] タブ



1	メニューバー	5	ステータス
2	ツールバー	6	スーパーバイザ モジュール
3	タブ	7	スイッチングまたはサービス モジュール
4	凡例		

## メニューバー

Device Manager メイン ウィンドウの上部にあるメニューバーでは、1 台のスイッチの管理およびトラブルシューティングを行うことができます。メニューバーには、次のオプションがあります。

- **Device** : Device Manager のインスタンスのオープン、管理プリファレンスの設定、ページレイアウトの設定、現在のスイッチとの Telnet/Secure Shell (SSH; セキュア シェル) セッションのオープン、デバイス イメージのエクスポート、および Device Manager アプリケーションのクローズを行います。
- **Physical** : コンポーネント、モジュール、温度センサ、電源モジュール、ファン、およびシステム全体を表示し、管理できます。

- **Interface** : PortChannels、ファイバチャネルポート、イーサネットポート、iSCSIポート、FICONポートを設定して管理できます。診断、管理、モニタリング機能、および Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチドポートアナライザ) とポートのトラッキング機能も提供します。
- **FC** : VSAN (仮想 SAN)、ドメイン、およびネームサーバの特性を設定して管理できます。高度な設定機能も提供します。
- **FCoE** : Cisco Nexus 5000 シリーズスイッチで FCoE パラメータを設定し、VSAN から VLAN にマッピングできます。



(注) FCoE メニュー オプションは、Cisco Nexus 5000 シリーズスイッチが Cisco NX-OS Release 4.0(1a) 以降で実行されている場合にだけ表示されます。

- **FICON** : FICON VSAN の設定と管理、RLIR ERL 情報の設定、選択した FICON ポートの交換、FICON ポート番号の表示を実行できます。
- **IP** : FCIP、iSCSI、iSNS、ルート、VRRP、および CDP を設定および管理できます。
- **Security** : FCSP、ポートセキュリティ、iSCSI セキュリティ、SNMP セキュリティ、共通のロール、SSH、Authentication, Authorization, and Accounting (AAA; 認証、認可、アカウントイング)、および IP Access Control List (ACL; アクセスコントロールリスト) を設定して管理できます。
- **Admin** : スイッチ設定の保存、コピー、編集、および消去、イベントのモニタ、フラッシュファイルの操作、ライセンスの管理、NTP の設定、CFS の使用、およびスイッチのリセットを実行できます。 **show tech support**、**show cores**、および **show image** コマンドを使用することもできます。
- **Logs** : メッセージ、ハードウェア、イベント、およびアカウントイングの各ログを表示します。FICON リンク インシデントを表示し、Syslog 設定を変更することもできます。
- **Help** : [Information] ペインに、特定のダイアログボックスに関するオンラインヘルプトピックが表示されます。

## ツールバー アイコン

Device Manager ツールバーを使用すると、多くの Device Manager 機能にすばやくアクセスできます。アイコンを選択すると、機能を設定するためのダイアログボックスが開くことがあります。ツールバーには、主な Device View アイコンおよび Summary View アイコンが配置されています (表 6-1 を参照)。

表 6-1 Device Manager のメイン ツールバー




アイコン	説明
 Open Device	他のスイッチの Device Manager ビューを開きます。このビューを別のウィンドウで開くオプションがあります。
 Refresh Display	スイッチと通信し、Device Manager ビューに情報を表示します。
 Command-Line Interface	スイッチに対する [CLI コマンド] ウィンドウを別個に開きます。

表 6-1 Device Manager のメイン ツールバー (続き)

アイコン	説明
 Configure Selected	選択されたコンポーネント (ライン カードまたはポート) の設定ダイアログボックスを開きます。
 SysLog	スイッチに発生した最新のシステム メッセージのリストを表示するウィンドウを開きます。
 VSANs	スイッチの VSAN 設定を行う VSAN ダイアログボックスを開きます。
 Save Configuration	現在の実行コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションに保存します。
 Copy	サーバとスイッチ間でコンフィギュレーション ファイルをコピーします。
 Toggle FICON/ Interface Port Labels	FICON およびインターフェイス ポート ラベルを切り替えます。
 Select VSAN	ポートの表示をフィルタリングして、選択された VSAN に属すポートだけを表示します。
 Help	Device Manager のオンライン ヘルプにアクセスします。

## ダイアログボックス

ツールバー アイコンを選択すると、選択された機能を設定するためのダイアログボックスが開くことがあります。このダイアログボックスには、テーブル操作アイコンが配置されている場合があります。これらのアイコンの詳細については、「[\[Information\] ペイン](#)」(P.5-12) を参照してください。

## タブ

スイッチ シャーシとコンポーネントをグラフィック表示するには、Device Manager のメイン ウィンドウで [Device] タブをクリックします。

1 台のスイッチ、ファイバ チャネル、および IP ネイバー デバイス上のアクティブ インターフェイスに関するサマリーを表示するには、Device Manager のメイン ウィンドウで [Summary] タブをクリックします。Summary View にはポート速度、リンク利用率、およびその他のトラフィック統計情報も表示されます。[Summary View] タブの左上に、トラフィック監視用のボタンが 2 つあります。選択されたオブジェクトのトラフィックを監視するには、[Monitor Selected Interface Traffic Util%] ボタンをクリックします。選択されたオブジェクトの詳細な統計情報を表示するには、[Monitor Selected Interface Traffic Details] ボタンをクリックします。ポーリング インターバル、タイプまたは Rx/Tx 表示、およびしきい値を設定できます。



(注)

[Summary] タブには、Cisco NX-OS Release 4.2 を実行する Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチの仮想ファイバ チャネル インターフェイスの利用率の統計 (Util%) は表示されません。

## 凡例

Device Manager の右下にある凡例は、次のようにポート ステータスを示します。

### カラー

- グリーン：ポートが起動しています。
- ブラウン：ポートは管理上のダウン状態です。
- レッド：ポートはダウンしているか、または障害があります。
- オレンジ：ポートにマイナー障害が発生しています。
- グレー：ポートに到達できません。
- ブルー：ポートはアウト オブ サービス状態です。

### ラベル

- X：リンク障害
- E：ISL (スイッチ間リンク)
- TE：Multi-VSAN ISL
- F：ホスト/ストレージ
- FL：F ループ
- I：iSCSI
- SD：スパンの終点
- CH：チャンネル
- CU：制御ユニット
- NP：プロキシ N ポート (NPV モード)
- TNP：トランキング NP\_Port (NPV モード)
- TF：トランキング F\_Port
- f：vFC あり (Cisco Nexus 5000 シリーズスイッチだけ)

## スーパーバイザおよびスイッチング モジュール

Device View でオブジェクトを右クリックして、その情報を取得したり、設定することができます。モジュールを右クリックすると、メニューにモジュール番号が表示され、モジュールの設定やリセットを実行できます。ポートを右クリックすると、メニューにポート番号が表示され、そのポートに関する設定、監視、イネーブル化、ディセーブル化、ビーコンモードの設定、または診断を実行できます。



ヒント

Device Manager では複数のポートを選択し、選択したすべてのポートにオプションを一度に適用できます。ポートを選択するには、マウスをクリックしたまま、選択するポートを囲むようにドラッグするか、**Cntl** キーを押したまま各ポートをクリックします。

ポートをイネーブルまたはディセーブルにするには、ポートを右クリックし、ポップアップメニューで [Enable] または [Disable] をクリックします。複数のポートをイネーブルまたはディセーブルにするには、マウスをドラッグしてポートを選択し、選択されたポートを右クリックします。次にポップアップメニューで [Enable] または [Disable] をクリックします。

1 つまたは複数のポートのトランキングを管理するには、選択されたポートを右クリックし、[Configure] をクリックします。表示されたダイアログボックスの Trunk カラムの現在の値を右クリックし、プルダウンリストで [nonTrunk]、[trunk]、または [auto] をクリックします。

Device Manager を使用して PortChannels ポート チャンネルを作成するには、[Interface] メニューで [PortChannels] をクリックします。



(注) PortChannel を作成するには、リンク両端のすべてのポートでポート速度、トランキングタイプ、および管理ステータスを同じにする必要があります。

## コンテキストメニュー

両方の Device Manager ビューでコンテキストメニューを使用可能にするには、デバイスまたはテーブルを右クリックします。

Device View ビュー：

- **Device**：システム、モジュール、または電源モジュールを右クリックするとメニューが表示され、デバイスの設定またはリセットに関するオプションを選択できます。
- **Port**：ポートを右クリックすると、クリックしたポートの番号を示すメニューが起動し、そのポートに関する設定、モニタリング、イネーブル化、ディセーブル化、ビーコンモードの設定、またはポート診断を実行できます。

Summary View ビュー：

- **Table**：テーブルのヘッダーを右クリックすると、そのテーブルに表示されるカラムのリストが表示されます (Interface、Description、VSANs、Mode、Connected To、Speed (Gb)、Rx、Tx、Errors、Discards、および Log)。ポートタイプに該当する設定ダイアログボックスを起動するには、Description フィールドをクリックします。

## Device Manager のプリファレンスの設定

Device Manager アプリケーションのプリファレンスを設定するには、Device メニューで [Device] > [Preferences] を選択します。設定できるプリファレンスは次のとおりです。

- **Retry Requests x Time(s) After x sec Timeout**：再試行要求値を設定できます。デフォルト設定は、5 秒間のタイムアウト後に 1 回です。
- **Enable Status Polling Every x secs**：ステータスポーリング値を設定できます。デフォルト設定はイネーブル (ON) で、期間は 40 秒です。
- **Trace SNMP Packets in Message Log**：Device Manager が SNMP パケットをトレースし、トレースを記録するかどうかを設定できます。デフォルト設定は、ディセーブル (OFF) です。
- **Register for Events After Open, Listen on Port 1163**：Device Manager を開いたあとにイベントが記録されるように、現在のスイッチを登録できます。デフォルト設定はイネーブル (ON) です。

- **Show WorldWideName (WWN) Vendor** : Device Manager によって表示された任意のテーブルまたはリスト内で、WWN ベンダー名を表示します。 **Prepend** がオンの場合は、スイッチの IP アドレスの前に名前が表示されます。 **Replace** がオンの場合は、IP アドレスの代わりに名前が表示されます。デフォルト設定では、 **Prepend** オプションがイネーブル (ON) です。
- **Show Timestamps as Date/Time** : タイムスタンプを日付/時刻フォーマットで表示します。この設定がオフの場合、タイムスタンプは経過時間で表示されます。デフォルト設定はイネーブル (ON) です。
- **Telnet Path** : システムの telnet.exe ファイルのパスを設定します。デフォルトは **telnet.exe** ですが、正しい場所を参照する必要があります。



(注) パスを参照するか、パスを入力した場合に、パス名にスペースが入っていると (**c:\¥program files¥telnet.exe** など)、パスは無効になります。パスを有効にするには、手でパスを引用符で囲みます ("**c:\¥program files¥telnet.exe**" など)。

- **Use Secure Shell Instead of Telnet** : CLI を使用してスイッチと通信する場合に、SSH または Telnet のどちらを使用するかを指定します。イネーブルの場合は、SSH アプリケーションのパスを指定する必要があります。デフォルト設定は、ディセーブルです。
- **CLI Session Timeout x secs (0= disable)** : CLI セッションのタイムアウト インターバルを指定します。ディセーブル (タイムアウト値なし) にするには、 **0** を入力します。デフォルト設定は **30** 秒です。
- **Show Tooltips in Physical View** : Physical (Device) View にツールチップを表示するかどうかを決定します。デフォルト設定はイネーブル (ON) です。
- **Label Physical View Ports With:** : Physical (Device) View を使用している場合に、ポートに割り当てるラベルタイプを指定します。FICON および Interface を選択できます。デフォルト設定は Interface です。
- **Export Table** : Device Manager を使用してテーブルをエクスポートした場合に作成されるファイルのタイプを指定します。Tab-Delimited (タブ区切り)、または XML から選択できます。デフォルト設定は Tab-Delimited です。